

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2000-504252(P2000-504252A)

【公表日】平成12年4月11日(2000.4.11)

【出願番号】特願平10-520668

【国際特許分類第7版】

A 6 1 J 1/05

B 6 5 D 81/32

【F I】

A 6 1 J 1/00 3 5 1 Z

B 6 5 D 81/32 Q

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月25日(2004.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年10月25日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第520668号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 イリノイ 60015, ディアフィールド,
ワン バクスター パークウェイ (番地なし)

名称 バクスター・インターナショナル・インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910

4. 補正対象書類名

請求の範囲および明細書

5. 補正対象項目名

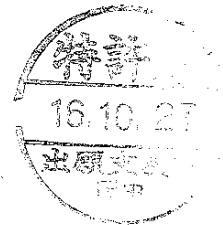
請求の範囲および明細書

6. 補正の内容

6.1 請求の範囲を別紙のように補正します。

6.2 明細書の発明の詳細な説明の欄を以下のように補正します。

- (1) 明細書の第8頁第5行目の、「装置22」を「装置12」に補正します。
- (2) 明細書の第8頁第11行目の、「20b」を削除します。
- (3) 明細書の第11頁第1行目の、「熱バルブ10」を「熱バルブ100」に補正します。
- (4) 明細書の第13頁下から第7行目の、「シェル材料の移動変形を発生させるのに適した材料」を「(2) シェル材料の横方向の変形を発生させるのに適した材料」に補正します。



請求の範囲

1. 放出制御用のシステムであって、
インテリアを規定する壁を有する容器と、
該容器の該インテリア内の生成物と、
該容器の該インテリア内の装置であって、該装置がインテリアを規定する壁を有し、該容器の該インテリア内に自立している装置と、
該装置の該インテリア内の成分であって、該生成物が該成分との混合を要する成分と、
該装置の該インテリアを密閉する第1のプラグ部材であって、該インテリアが、該成分を該容器内の該生成物との混合のために保持する、第1のプラグ部材とを有する、システム。
2. 前記第1のプラグ部材が、温度変化によって形状を変える材料により構成される、請求項1に記載のシステム。
3. 前記第1のプラグ部材が、圧力変化によって、前記装置内における該プラグ部材の位置を変えるような形状に設計される、請求項1に記載のシステム。
4. 前記第1のプラグ部材から離れた前記装置の一端部を密閉するキャップ部材をさらに有する、請求項1に記載のシステム。
5. 前記キャップ部材と前記第1のプラグ部材との中間に配置される第2のプラグ部材をさらに有し、該第2プラグ部材が前記装置の前記インテリア内部にある、請求項4に記載のシステム。
6. 前記第2のプラグ部材が、圧力変化によって前記装置内における位置を変えるような形状に設計される、請求項5に記載のシステム。

7. 前記成分が、透析手法に用いられる緩衝液である、請求項1に記載のシステム。

8. 前記生成物が、ブドウ糖を含む溶液である、請求項1に記載のシステム。

9. 放出の制御方法であって、

生成物を内部に保持し得るインテリアを有する容器を提供する工程と、

物質を提供する工程と、

装置に該物質を満たす工程と、

該物質を該装置に封入する工程と、

該自立型装置を該容器の該インテリア内に配設する工程と、

該容器に適用される条件を変更する工程と、

変更した該条件によって、該装置から該物質を放出する工程と

を包含する、方法

10. 前記装置の一端部を封入、密閉するような寸法のプラグ部材を提供する工程をさらに包含し、該プラグ部材が温度変化に応答する、請求項9に記載の方法。

11. 前記装置の一端部を封入、密閉するような寸法のプラグ部材を提供する工程をさらに包含し、該プラグ部材が圧力変化に応答する、請求項9に記載の方法。

12. 前記物質が、透析手法で使用するために、前記生成物との混合を要する緩衝液である、請求項9に記載の方法。

13. 前記生成物が、ブドウ糖を含む溶液である、請求項9に記載の方法。

14. 温度を上昇させ、前記容器を滅菌する、請求項9に記載の方法。

15. システム内に制御可能に放出される物質と、

開口した端部を介してアクセスできるインテリアを規定する壁であって、該インテリアが該物質を保持する、壁と、

少なくとも部分的に該インテリア内に延び、且つ該開口した端部を封入、密閉するような寸法に形成されたキャップ部材であって、該物質が該インテリアに封入、密閉され、さらに、該キャップ部材は外的条件における変化に応答して変化を生じ、それにより該物質を放出する、キャップ部材とを有する装置。

16. 前記キャップ部材から離れて配置され多プラグ部材をさらに有し、該プラグ部材が、外的条件の変化に応答する、請求項15に記載の装置。

17. 前記キャップ部材と前記プラグ部材とが、圧力の変化に反応するような形状に形成されている、請求項16に記載の装置。

18. 前記キャップ部材が、それぞれ異なる材料から形成されたコアとシェルとを有し、各材料が、温度条件の変化において、異なった反応を示す、請求項15に記載の装置。

19. 前記物質が、透析手法を受ける患者に投与される前に、溶液との混合を要する緩衝液である、請求項15に記載の装置。

20. 前記キャップ部材と前記プラグ部材とが、互いに異なる形状を有する、請求項16に記載の装置。

21. 前記外的条件が変化する圧力である、請求項15に記載の装置。

22. 前記外的条件が変化する温度である、請求項15に記載の装置。

23. 前記壁が、前記インテリアに対向した一体形成された表面を有する、請求

項15に記載の装置。

24. 成分を制御可能に放出するためのシステムであって、該システムが、以下：、

インテリア（14）を規定する壁を有する容器（10）；

該容器の該インテリア内の生成物；

該容器の該インテリア内の装置（12）であって、該装置がインテリア（24）を規定する壁を有し、該容器の該インテリア内に自立している装置；

該装置の該インテリア内の成分（26）であって、該生成物が該成分との混合を要する成分；

該装置の該インテリアを密閉する第1のプラグ部材（20b）；および

該第1のプラグ部材から離れた該装置の一端部を密閉するキャップ部材（22）であって、圧力変化に応答するような形状である、キャップ部材（22）；を備え、

ここで、該容器内の圧力が上昇した場合、該デバイスが圧縮され、それにより該第1のプラグ部材（20b）を該キャップ部材（22）に向かって押し、そして該容器内の圧力が低下した場合、該キャップ部材（22）が該デバイスから押され、そして該成分が該容器のインテリア内に放出され、該インテリア内に含まれる該生成物と混合される、システム。

25. 前記第1のプラグ部材（22b）が、圧力変化によって、前記装置内における該プラグ部材の位置を変えるような形状に設計される、請求項24に記載のシステム。

26. 前記キャップ部材（22）と前記第1のプラグ部材（20b）との中間に配置される第2のプラグ部材（20a）をさらに有し、該第2プラグ部材が前記装置の前記インテリア内にある、請求項24または25に記載のシステム。

27. 前記第2のプラグ部材（20a）が、圧力変化によって、前記装置内にお

ける該プラグ部材の位置を変えるような形状に設計される、請求項26に記載のシステム。

28. 請求項24～27のいずれか1項に記載のシステムであって、前記キャップ部材(22)が、高い外圧下で前記デバイスに向かって移動し得るが、高い内圧下で開くように設計される、システム。

29. 請求項24～28のいずれか1項に記載のシステムであって、前記第1のプラグ部材(20b)および/または前記第2のプラグ部材(20a)が、高い外圧下でデバイス内で移動するように設計されている、システム。

30. 成分を制御可能に放出するためのシステムであって、該システムが、以下:、

インテリア(14)を規定する壁を有する容器(10);

該容器の該インテリア内の生成物;

該容器の該インテリア内の装置(12)であって、該装置がインテリア(24)を規定する壁を有し、該容器の該インテリア内に自立している装置;

該装置の該インテリア内の成分(26)であって、該生成物が該成分との混合を要する成分;

該装置の該インテリアを密閉する第1のプラグ部材;および

該第1のプラグ部材から離れた該装置の一端部を密閉するキャップ部材(100)であって、温度変化に応答するような形状である、キャップ部材(100);

を備え、

ここで、該容器内の温度が上昇し、次いで低下した場合、該キャップ部材内に開口部が生成し、該成分の該容器のインテリアへの放出が生じ、その結果、該容器に含まれる生成物と混合される、システム。

31. 前記第1のプラグ部材が温度変化に応答する、請求項30に記載のシステ

ム。

32. 前記キャップ部材と前記第1のプラグ部材との中間に配置される第2のプラグ部材をさらに有し、該第2プラグ部材が前記装置の前記インテリア内にある、請求項30または31に記載のシステム。

33. 請求項30～32のいずれか1項に記載のシステムであって、前記キャップ部材(100)がコア(102)およびシェル(104)を備え、該コア(102)およびシェル(104)が異なる材料から作製され、ここで各材料が温度条件を変化させると別々に反応する、システム。

34. 加熱および冷却サイクルの間に、前記コアと前記シェルとの間にギャップが形成される、請求項33に記載のシステム。

35. 前記成分が透析手順で使用される緩衝液である、請求項24～34のいずれか1項に記載のシステム。

36. 前記生成物がブドウ糖を含む溶液である、請求項24～35のいずれか1項に記載のシステム。

37. 前記キャップ部材および前記プラグ部材が互いに異なる形状である、請求項24～36のいずれか1項に記載のシステム。

38. 成分を制御可能に放出する方法であって、該方法は、以下：

請求項24～29のいずれか1項に記載のシステムを提供する工程；および
該システムに付与される圧力を変化させて、装置から容器へ該成分を放出する工程、
を包含する、方法。

39. 成分を制御可能に放出する方法であって、該方法は、以下：

請求項30～34のいずれか1項に記載のシステムを提供する工程；および
該システムに付与される温度を変化させて、装置から容器へ該成分を放出する
工程、
を包含する、方法。

40. 前記成分が、透析手法で使用するために、前記生成物との混合を要する緩
衝液である、請求項9に記載の方法。

41. 前記生成物が、ブドウ糖を含有する溶液である、請求項38～40のいづ
れか1項に記載の方法。

42. 前記容器を滅菌に供するために温度が上昇される、請求項39に記載の方
法。